

大淀中学校だより 『晴』

6月のSAYは「晴」です

第6号
京都市立大淀中学校
令和3年6月2日
文責 油谷

「至誠通天」横断幕が校門前に大きく張り出されました



始業式で公開された生徒会本部、美術部のコラボした大作である「至誠通天」横断幕が校門前に大きく張り出されました。

これまででは体育館のステージに掛けていましたが、これからはより多くの人の目に触れることになります。

誠を尽くせば、必ず天に通じ、相手にも通じていきます。

誰に対しても誠実に生きたいものですね。お互い頑張っていきましょう。

火災による避難訓練実施（5／26）「大淀中学区（大淀中・明親小・美豆小）セーフスクール事業」



大淀中学区の三校（大淀中・明親小・美豆小）では教育委員会から「セーフスクール事業」という防災についての研究指定を受けています。特に河川に囲まれたこの地域にとっては水害に対する意識を高めていく必要があり、今後も三校で連携を常に図っていくことにしています。今回の避難訓練については火災による避難訓練を実施しました。まずは教室で避難経路の確認、「お・は・し・も・て」つまり「押さない」「走らない」「しゃべらない」「戻らない」「低学年優先」の話などを教室で行いました。今回は北校舎の理科室から出火という設定でしたが、全校生徒みんながグラウンドに出てからは一生懸命走って、誰一人ふざけたりする人もなく、集まつてからも黙って指示を待つことができました。全員が避難するまでに5分を目安としていましたが、2分43秒で集合が完了しました。本番を想定して、みんな一人ひとりが真剣に取り組んでくれていることが素晴らしいかったです。これからも何事も真剣に取り組める大淀中の生徒でいて欲しいと思います。

3年生学年集会「人権映画制作に向けて」（5／14・21）

3年生は学年集会を行い、今後の総合学習の取組の中で人権映画制作に取りかかるということを学年主任の堀内先生が熱く語りました。生徒達は集中して、真剣に話を聞いていました。

先生は「君たちにどういう人になってもらいたいか？これまで話してきた3つのことを覚えてますか？」と語りかけました。それは「人の痛み、気持ちが分かる人になって欲しい」「チャレンジできる人、一歩を踏み出す人になって欲しい」「周りの人の個性を認められる人になって欲しい」という3つです。そしてそれらの実践の場として、人権映画の制作にチャレンジしてみようということになりました。命の尊さ、後悔しない生き方、普段忘れがちな本当に大切な人への気付き、そうしたものを織り込んだ内容で、先生自ら脚本されています。3年生全員で取り組む壮大なプロジェクトが動き出します。キャスト、道具、音響、様々な役どころの中、お互いがお互いを尊敬し合い、支え合い、3年間の集大成として、取り組んでくれることでしょう。



続いて人権教育の視点から生徒指導部長の橋元先生からのお話もありました。「人の命を考える」という大きな命題に、「生きるとは何か？」「今ここに一緒に仲間と過ごせいられる奇跡」などを映像を交えながらも心に訴えかけました。戦争の話もありました。震災の話もありました。そして新型コロナの話もありました。我々が毎日を当たり前のように過ごせていること自体が本当に素晴らしいものであること。この出会いや周りの人への感謝などをしっかりと感じられるお話でした。映画の制作に向けて、学年がひとつになっていく様を感じることができます。

教育実習（5／17～6／8）

6名の教育実習生が3週間の実習を頑張っています。各教科で毎日授業も行い、将来立派な教員になるべく、毎日奮闘されています。生徒と一緒に懸命向き合う日々です。5人の実習生は4日まで、1人は8日まで実習を行います。これからの教育を担う若者を応援しています。



2年生総合学習「働くことについて ZOOMによるオンラインでの講演」(5／18)

2年生はZOOMによるオンラインでの講演会を行い、たくさんの学びを得ました。ゲストは東京都八王子市にある日商平野代表取締役社長の平野雅之さんです。とても親しみやすい方で、各教室と八王子をオンラインで結んでのお話でした。育成学級の皆さんも交流学級と一緒に学びました。



2年生はチャレンジ体験に変わる取組として、大淀バザーを行います。

仮想通貨を用いて、商品を作成し、販売して利益を生むという学習です。

昨年度もチャレンジ体験に向けていろいろな職業の方々のお話を聴きました。直接教室でお話し下さった方や今回のようにオンラインでお話いただいた方もおられました。生徒の方もこういう形式に慣れて来たと思います。スムーズに質問などもやりとりができました。

お話としては、まず「仕事って？！」というところから入り、平野社長がお仕事をする上で意識しているものを3つ教えていただきました。1. 仕事はひとつでなくて良い。2. 働くとは何かを考える。

3. 仕事のイメージをしっかりと持つ。そして話を聞くときの心構えとしては「バイキングの気持ちで」と話されました。バイキングというのは自分で選んで好きな食事を取りますね。だから、話を聞くときに自分から話を選んで自分のものにしていく。つまり何においても自分の事と置き換えて聞くということでした。自分から何かを取りに行くという話が印象的でした。

平野さんはお仕事が毎日忙しいそうですが、とても幸せだと話されました。なぜなら、やりたい仕事しかしていないからだそうです。仕事って、お金をもらえて自分を成長させてもらえるところだと思うと、とても楽しいと本当に嬉しそうに語られました。そしてこれからは今までの仕事の65%はこれまでなかったような仕事になってくる。だから発想を豊かにして、様々な自分の可能性を追い求めて欲しい。

成功したい人はあきらめないで欲しい。失敗とはチャレンジしなくなること。などの名言もたくさん話していただきました。質問では「大淀バザーに平野さんが来られたら、何をしますか？」というものがありました。平野社長は「まずみんなのやってることをしっかりと観察し、みんなが困っている事を見つける。そしてそれを商売にする。人を集めることができなければ、どうしたら人を集めることができるか？」という視点でコンサルテーションを行うし、企画に困っていれば、企画を提供してその見返りをもらうとか？とにかく今、みんなが不便に思うこと。こんな事があったら良かったなと思うことをビジネスしていく」と話されました。たくさんのヒントを得ることができたと思います。あっという間の1時間でした。

1年生学年集会＆レクリエーション（5／19）



1年生は学年集会を行いました。入学してから1ヶ月少し経ち、これまでのまとめを評議委員の方から各クラスごとに話してもらいました。これまでのクラスの良いところやこれからに向けての改善点などをしっかりと話してくれました。良かったことは人の話を全員がしっかりと聞いて、大きな拍手をすることができたことです。やっぱり拍手がしっかりとできるって学年の温かみを感じますね。

その後は、学年レクとして3クラス（育成学級は交流クラス）でのドッジボール・ドッジビーをしました。入学して初めての学級対抗戦に盛り上りました。1年生も先輩達に負けず明るく元気な学年です。

体操服登校が可能になりました（6／1～）

昨年度に続いて、体操服での登校が可能になりました。

新型コロナ対策のため、これから季節はエアコンを使用しても換気が必要になります。暑さが厳しくなってきますので、体調にも合わせて自分で決定し、判断してもらいたいと思っています。



教育相談週間（5／31～）



担任の先生との教育相談が始まりました。日頃、思っていることなど担任の先生にいろいろと聞いてもらえるのと、先生も一人ひとりのことをよく知るとてもよい機会です。

部活動再開（6／1～）

部活動が再開されました。初日は1ヶ月以上も活動をしていませんでしたので、特に体育系部活は身体を少しづつ慣らしながら、しかも給水タイムをしっかりと取りながらの活動でした。汗をかきながら、良い笑顔で下校していました。

やっぱり部活動があると学校は活気が出ますね。

